

中小企業の知財戦略のあり方検討会

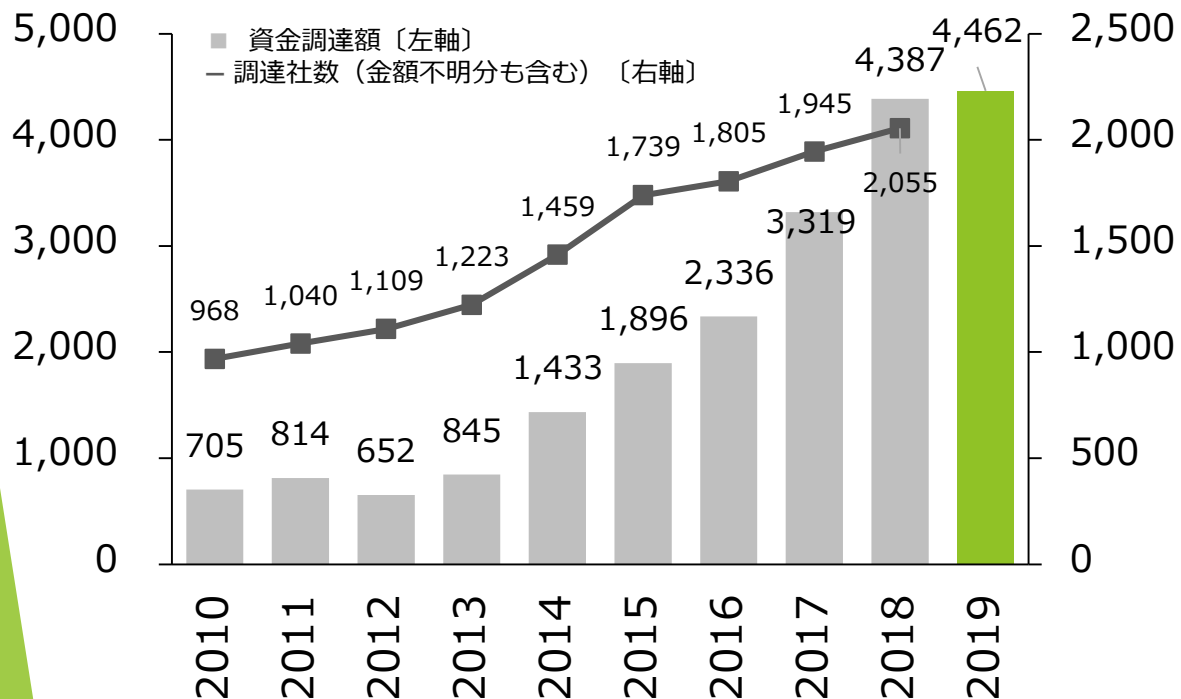
～中小企業/スタートアップ企業の課題～

2021年8月26日

織田 好和

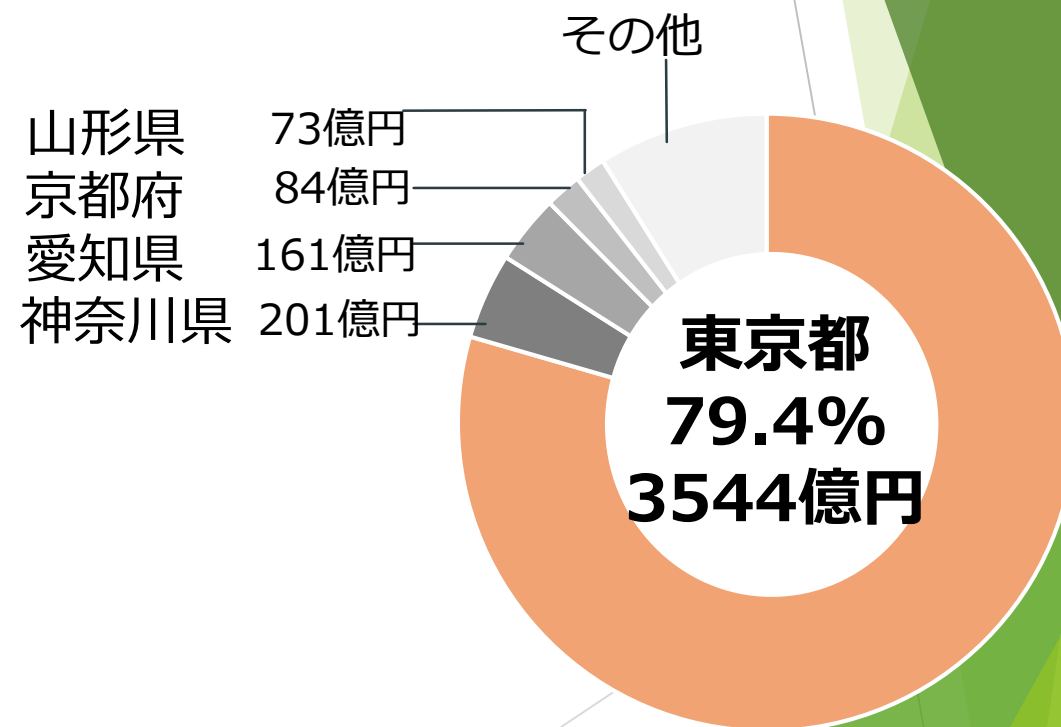
【国内スタートアップ企業の資金調達】

資金調達額と調達者数推移

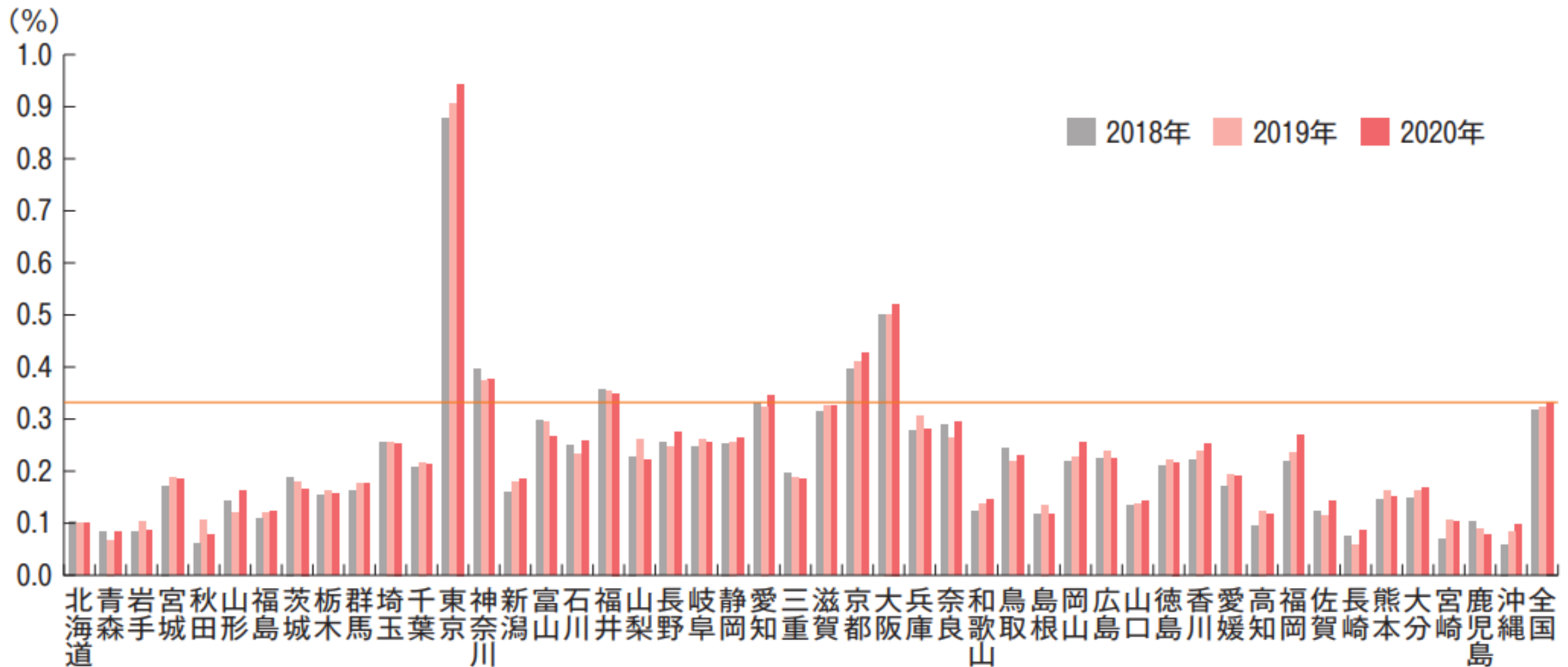


INITIAL 「2019年スタートアップ資金調達動向」より

地域別資金調達額比較



【都道府県別の中小企業数に対する特許出願中小企業数の割合】

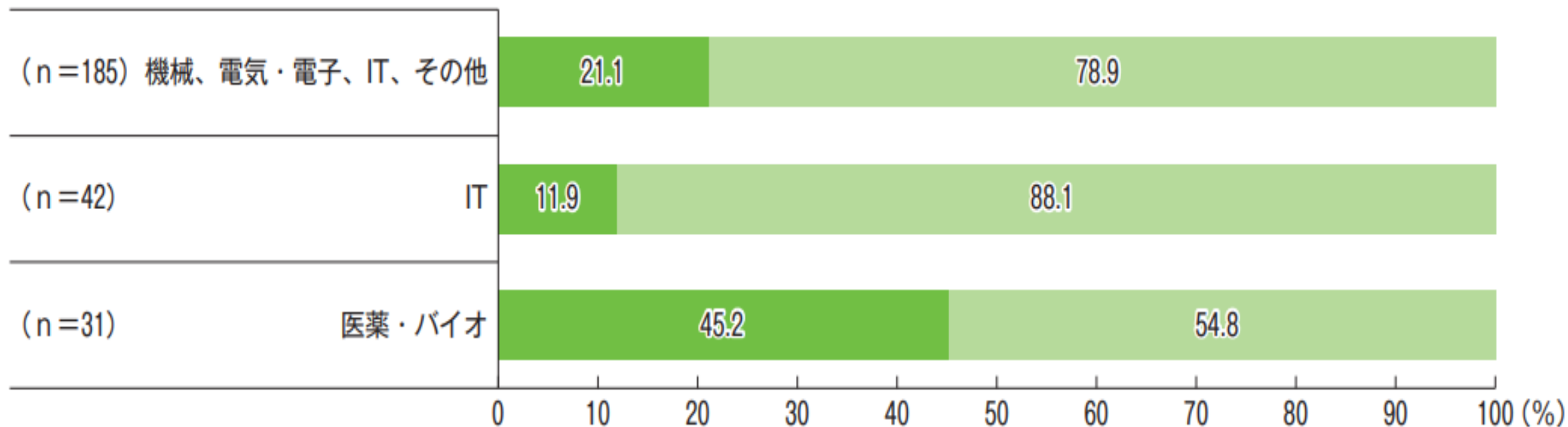


特許行政年次報告書 2021年度より

【知的財産を経営戦略に組み込んだ時期】

知的財産の経営戦略への組込時期別にみた知的財産の経営戦略上の位置づけ（事業分野別）

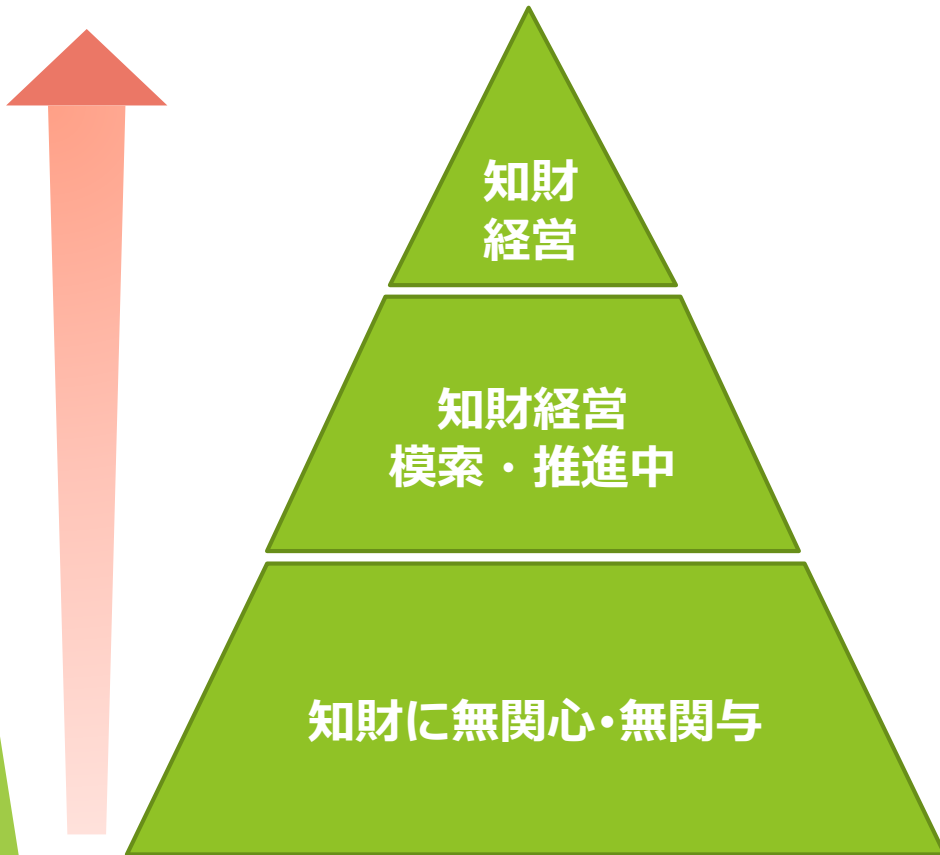
- 「創業前」に知的財産が経営戦略に組み込まれている
- 「創業前」に知的財産が経営戦略に組み込まれていない



【中小企業/スタートアップ企業の知財経営の現状】

現 状

必 要 支 援



知財を生かした
経営
(ニッチトップ企業
→ユニコーン企業)

知財の取得・対策・
活用を実施中

知財の知識・
認識が不足

事業拡大・変化に対応した
継続的なハズオン支援

権利化・対策・活用の実務支援
・権利化/調査の個別支援
・助成金・知財活用 etc

普及啓発
・セミナー/教育
・体制・規定等整備 etc

【スタートアップ企業の特徴】

新規で単一の事業形態（＝既存事業無し）

【企業体制が未完】

人：最少人数 → 知財・法務**人材不足**が顕著

物：開発、試作、設備、販路が新規 → **新規要素が多い**＝知財の影響大

金：財務体質が脆弱 → VC等での**資金集め**に知財の影響大

人：最少人数

→知財・法務人材不足が顕著

- ・外部リソースの活用が必須 →知財・法務専門家の**中期的ハンズオン支援**が必須
(民間 or 公的機関?)
* 最近は特に「**契約**」問題が重要

物：開発、試作、設備、販路が新規

→新規要素が多い=知財の影響大

- ・企業名、製品名(サービス名)の独自化 = 「商標」の取得とクリアランス
→社名、製品名の途中変更 →ブランド棄損
- ・製品の独自性 = 「特許」「意匠」の取得とクリアランス
→他社問題特許等の発見 →製品化断念 = **企業存続不可**
→製品の知財保護不足 →後発類似品の発生 = **企業存続困難**
* 特に海外事業に対する**海外知財対応**は不足の傾向

金：財務体質が脆弱

→VC等での資金集めに知財の影響大

- ・VC等は投融資の際に企業価値の判断パラメータとして**知財も重要視**
(知財は国が認めた独自性として重要視)